

札幌の冬の魅力、
子どもたちに届けましょう!

雪学習 NEWS

札幌市内
小学校
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のシーズンを中心に、定期的にお届けします。

No.25

雪と闘う

雪がたくさん降っても、朝見るときれいに除雪されています。そこには、熱い思いをもって除雪に取り組んでいる人たちの努力があります。今回はオペレーターの方の思いに迫ります!

大きな除雪機械を見かけたことはありますか?それを運転している人を「オペレーター」と呼んでいます。昼間、札幌市の委託を受けて除排雪作業をしたり、雪が10cm以上降り積もると夜中に出動し、朝、皆さんが活動し始める前に除雪を終えたりしてくれています。男性が多い仕事ですが、最近では女性オペレーターも増えてきているようです!

社会科



女性オペレーター、大友さんに 仕事に対する思いを聞きました!



北真工業株式会社
大友 久美子さん

オペレーターになったきっかけは何ですか?

小学生の頃、除排雪を行っているところを見て「カッコいい!」と思っていました。車などの機械も昔から好きでしたが、父に「男の仕事だ」と大反対されて諦めていました。でも、やりたいことをやってみようと思い、現在の会社で働き始めました。初めは自分で運転はしていませんでしたが、社長の「やってみたら?」という言葉に背中を押され、憧れのオペレーターを目指しました。

オペレーターの仕事の大変さは?

大きな除雪車を運転するので、接触事故に対しては神経をすり減らします。首が痛くなるくらい周囲を見渡して安全確認し、事故を起こさないようにしなければなりません。仲間たちと声を掛け合いながら、気を付けて仕事をしています。

オペレーターの仕事のやりがいは?

社長の「機械に乗ったら男も女も関係ない。センスが大事!」という言葉は今でも覚えています。「女だから無理」ではなく、「好き」という気持ちが大切です。除雪車の運転技術はまだまだだと思っていますが、少しずつうまくなっていることを実感でき、達成感を味わうことができる仕事です。働けなくなるまで、この仕事を続けたいです!

オペレーターは技術職なので、学歴や性別関係なく、経験とセンスで誰でも上を目指せる仕事です。土木という職種は、男くさくて女がする仕事じゃないというイメージがあると思います。でも、オペレーターの高年齢化で人手不足の今、女性オペレーターは年々確実に増えていますし、10年後には「女性オペレーター」という分類自体なくなっているかもしれないですね。土木や除排雪などの仕事は、北海道に住んでいる以上かかせません。みんなで住みやすい都市を維持していけたらと思っています。

運転席が とても高く、乗るのに一苦労!中にはレバーがたくさんあります。きれいに除雪するには細かい微調整が必要だそうですね!

編集後記

今回の取材で、大友さんの「この仕事、この職場が大好き!」という気持ちが伝わってきました。時にはやっかいな雪。でも、みんなが住みやすい町になるよう努力し、輝いている人たちが札幌にはいます。なんだか、とっても誇らしいです。

竹内 緑(札幌市立桑園小学校)

安全第一で仕事をしています。除雪車には、絶対に近づかないでくださいね!!





このままで大丈夫?札幌の冬の暮らし

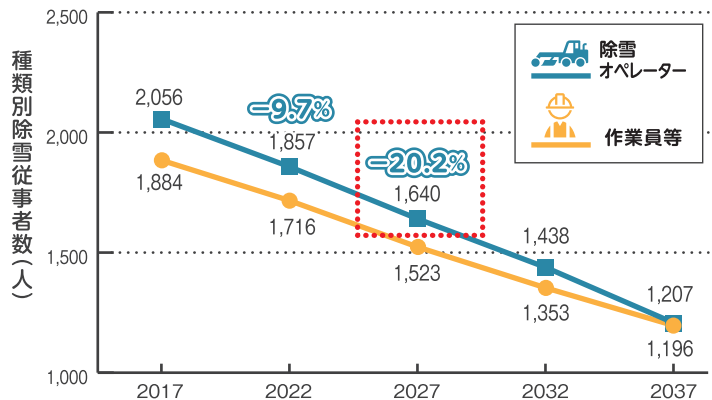
生産年齢人口という言葉をご存知でしょうか?経済学用語の一つで、国内で行われている生産活動における中核の労働力となるような年齢の人口のことをいいます。一般的には15歳から64歳までの人口を指し、40年後の2060年には札幌市で69万人(44%減)にまで減少することが予測されています。また、65歳以上の老年人口は今後も増加する見込みとなっていて、5年後の2025年には3人に1人が65歳以上の高齢者になると言われています。

わたしたちの冬の生活を支える除排雪作業にかかわる方々も例外ではありません。除雪オペレーターの主な年齢層は40代・50代で、60歳以上のオペレーターは全体の2割にも及びます。

一方で、若い世代の確保が難しく、29歳以下のオペレーターは1割以下と、とても少ない状況です。

札幌市では、除排雪にかかわる労働者の方々にアンケートをもとに「除雪従業者の将来推計」(右図)を出しました。近い将来、現在のような冬の快適な生活の維持は難しくなるのかもしれない。

札幌市の除雪従業者の将来推計(出典:札幌市)



子どもと考えよう。札幌の未来

札幌市では、このような将来予測のもと、「冬のみちづくりプラン」を策定し、ICTを活用した作業の効率化、省力化、2人乗りでの作業から1人での作業へ移行するために安全性を確保した一人乗りの機械の導入など、具体的な取組を始めました。

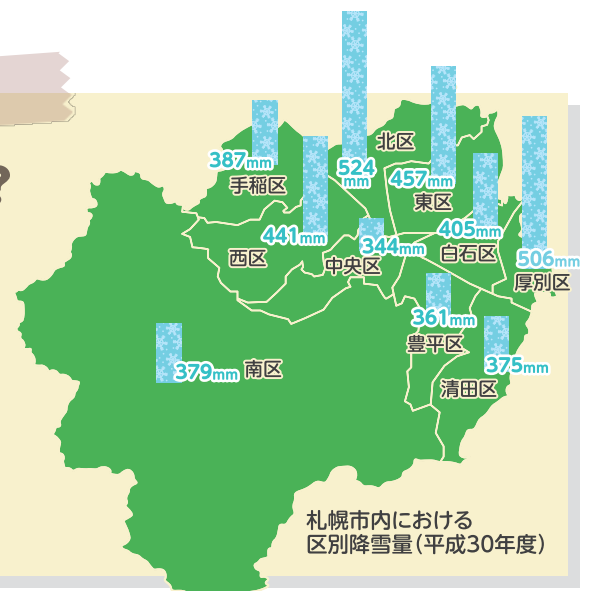
しかし、市の取組だけで問題解決はできません。札幌市民一人一人がきちんと問題に向き合っていかなければならないのです。わたしたちが享受している冬の快適な生活を未来の世代につなぐためにも、これからの冬の生活について子どもたちと考えてみませんか?

Q&A

Q.除雪センターって何箇所あるの?

A. 4年生社会科の「雪とくらし」でも学習する学校が多いと思いますが、除雪センターは各地区の除排雪業務を取り仕切っているところです。札幌市を細かく23地区にも分けて、それぞれに除雪センターを設置しています。

広い札幌市では、場所によって雪の降り方や地形が大きく異なっています。このような様々な地域の状況をより詳細に把握し、きめ細やかで地域に密着した除雪体制をとれるようにするために細かく分けているのです。



札幌市内における
区別降雪量(平成30年度)

授業をサポートする
資料は、ここ!

このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

[ホームページ] <https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

[発行・お問合せ] 札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX:011-218-5141

札幌雪学習 🔍 検索

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!